

クレーレ三浦 地域連携推進会議 議事録

2025 年 12 月 3 日 (水) 13:00～14:50	場所:クレーレ三浦 2F 食堂
参加者:H. Y 様(利用者)、柿島京子様(利用者家族)、飯嶋和子様(三浦市手をつなぐ育成会会長)、吉岡良子様(白石区長)、荻原尋子様(三浦市役所職員)、高橋翔太様(三浦市役所職員)、野村淳美(クレーレ三浦)、下田学(クレーレ三浦職員)、高橋 大(クレーレ三浦職員) 記録 : 高橋 大	
<p>【本日の議案】</p> <ol style="list-style-type: none">1、開会のあいさつ2、参加者紹介3、法人及び事業所の紹介4、報告事項<ol style="list-style-type: none">①2024 年度経営状況について②7/30 カムチャッカ半島沖地震に伴う対応について③10 月の虐待通報について5、ご意見聴取<ol style="list-style-type: none">①グループホームにおける生活等について②地域との連携・協力等について③その他6、中締め7、事業所見学 <p>(高橋大)それでは定刻になりましたので、2025 年度地域連携推進会議を開始させていただきます。本日の内容は議案書の通りです。進行は、私、クレーレ三浦所長の高橋 大が務めさせていただきます。皆様、何卒よろしくお願いいたします。では、早速ではございますが、議案1から進めさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none">1、開会のあいさつ 高橋大より、開会のあいさつを致しました。2、参加者紹介 高橋大より各参加者を紹介し、それぞれの参加者に簡単な自己紹介をして頂きました。 H. Y 様(利用者) 柿島京子様(利用者家族) 飯嶋和子様(三浦市手をつなぐ育成会会長) 吉岡良子様(白石区長) 荻原尋子様(三浦市役所職員) 高橋翔太様(三浦市役所職員) 野村淳美(クレーレ三浦職員) 下田学(クレーレ三浦職員) 高橋 大(クレーレ三浦職員)3、法人及び事業所の紹介 高橋大より法人パンフレットを資料にして、社会福祉法人県央福祉会の概要や理念等について説明した。 野村よりクレーレ三浦の日常生活等について説明した。 (高橋大)ここまでの内容で、何か気になる点や質問等がありましたら、お願いいたします。	

(飯嶋様)通常のクレーレ三浦の職員配置を教えてください。

(野村)夜勤は通常 1 階 2 階、それぞれ 1 名体制です。入浴や食事を作る時間に関しては、1, 2 階合わせて 4 名体制となっています。

4、報告事項

①2024 年度経営状況について

高橋大は、資料に基づいて 2024 年度クレーレ三浦の決算について説明した。

事業活動による収支

事業活動収入計	70,912,243 円
事業活動支出計	65,166,825 円
（内訳）人件費	45,120,022 円
事業費	7,678,018 円
事務費	11,756,270 円
その他	612,525 円
事業活動資金収支差額	5,745,418 円

施設整備等による収支

施設整備等収入計	0 円
施設整備等支出計	1,623,360 円
施設整備等資金収支差額	△1,623,360 円

その他の活動による収支

その他の活動収入計	412,380 円
その他の活動支出計	2,184,849 円
その他の活動資金収支差額	△1,772,469 円

当期資金収支差額合計 2,349,589 円

(質疑は特にありませんでした。)

②7/30 カムチャッカ半島沖地震に伴う対応について

(高橋大)7 月 30 日に発生いたしました、カムチャッカ半島沖地震による津波警報の発生と、その対応について説明させていただきます。

2025 年 7 月 30 日(水)午前 8 時 25 分頃、カムチャッカ半島沖にてマグニチュード 8.7 の大地震が発生いたしました。テレビやネットで速報が届いたのが、三浦創生舎より送迎に出た後で、速報では津波の高さもそれほどではなかったという事もあり、送迎各車には、なるべく海沿いを走らないように指示を出しつつ、一旦は三浦創生舎に利用者様をお連れするように指示を出しました。クレーレ三浦の入居者 10 名の内 9 名は、三浦創生舎を利用しており、その日は 9 名全員が来所されました。三浦創生舎はかなり高台にあるので、状況を見守りつつ、通常通りサービスを提供いたしました。15:30 には帰りの送迎が始まり、ご自宅や他のグループホームに居住している利用者さんについては通常通り送迎したのですが、クレーレ三浦は海に非常に近く、またその当時津波警報も解除されていなかった為、その時点でクレーレ三浦にお帰り頂く事はせずに、三浦創生舎で過ごしていただく事にしました。夕食を三浦創生舎で召し上がった後、18:30 頃に津波警報が津波注意報に切り替わった為、法人の危機管理対策室に確認の上、皆さんにクレーレ三浦へお帰り頂きました。

皆さん、夕方から夜間に三浦創生舎で過ごされた経験がないため、少し落ち着かれないご様子ではありましたが、クレーレに戻ってからは、落ち着いて就寝されました。

以上が当時のあらましとなります。何かご意見ご質問等がありましたら宜しくお願い致します。

(飯嶋様)もしもクレーレ三浦にいるときに津波が来るとなったら、どこに逃げるのですか？

(下田)一次的には三崎小学校か暖館(あったかん)になっておりますが、車でないと動けない方もおりますし、その時に車が動かせる状況かも分かりませんので、今の市役所か、三浦創生舎まで行ければよいとは思いますが。7月30日の時、餃子いちばんの方は、すぐ裏手に高台があり、そこに逃げましたが。

(高橋大)餃子いちばんが、裏の高台に逃げた時は、トイレの問題や暑さで悩まされたと聞いております。結果論ですが、先日の規模の津波であれば、クレーレの2階に避難でもよかったのかとも考えました。結果論ですが。

(飯嶋様)隣の老人ホームは階数が高いようですが、そちらに逃げることはできないのかなと。

(高橋大)本当に、東日本大震災級の地震が来たら、恐らくそういう判断になるかと思います。

(飯嶋様)三浦創生舎の方で、お泊りの練習とかをされたりはないでしょうか？

(高橋大)これまで、考えたこともありませんでした。今後検討してまいります。

(柿島様)今回の津波の時に、市役所から声掛け等はなかったですか？

(下田)警報が出てしばらくしてから、市役所から「皆さまどうされていますか」と言ったような声掛けは頂いております。

(飯嶋様)三浦創生舎自体が、三浦市の福祉避難所になっておりますよね。通っている人の対応もあるし、そういう避難者の対応も考えると大変ですよ。

(高橋大)福祉避難所の協定自体、ずいぶん前に結んだもので、具体的な内容が現状は判然としていない状態です。三浦創生舎は日中施設ですので、日中の対応なら何とかなるかもしれませんが、夜間となると、施設の提供はともかく、職員の配置は困難かもしれません。その辺りについては、今回を良い機会にして、三浦市と今後具体的に相談することとなっております。

③10月の虐待通報について

(高橋大)三浦市にクレーレ三浦の男性職員が利用者さんを叩いたという虐待通報があり、10月23日(木)16時より、三浦市の職員さんが来所されヒアリングを行っております。

通報の概要は、8月下旬から9月初旬にかけて、クレーレ三浦の男性職員がグループホームの入りで、利用者さんの背中をグーで叩いたのを見た。通報者は匿名。叩かれたという利用者さんも特定できていないとの事です。私もヒアリングに同席いたしましたが、8月～9月となるとヒアリング日から1か月以上前の事なので、記憶も定かではなく何とも言えないが、可能性があるとしたら、例えば利用者Mさんは、グループホームへの帰宅時、テンションが上がる事が多く、靴を投げたり、職員を叩いたりすることがあり、あまり度が過ぎるような時は、後ろから腕をとった上で、行動を促すことはあります。

その後、法人内の虐待防止委員会でも、ヒアリングを行っております。

今後の対応としては、法人内の専門職員により、自閉症等の対応についてのコンサルテーションを受ける等を実施して、より良い支援に努めていく予定です。

本件について、何かご意見ご質問等がありましたら宜しくお願い致します。

(柿島様)うちの息子は動かなくなることがあるので、後ろから押してもらう事があって、それは私も承知しているので、「いいですよ」と言っているのですが、それを見る人によって虐待ととられることがあるのであれば、嫌だなと思うんですよ。

(高橋大)ご理解いただきありがとうございます。今回の通報につきましては、私自身も職員を信じていますし、万一、例えば見えないところで叩くなどの行為があつたりしたら、利用者さんが、職員に怯えるなどの反応を示すでしょうし、現時点でそういった反応は見られない所を鑑みると、三浦市さんがどういった決定を下すかは分かりませんが、私は大きく逸脱した行為はなかったのかなと思っております。ただ、通報者の方は「何か」は見ているはずですので、それを考えて、虐待が「あった」ものという前提で、これを良い機会に、今後の支援の在り方を考えていくことが必要だと思っております。

(野村)私たちも、親御さんが抑えてよいと言ってくれたからやるという訳ではなくて、その中でも抑えなくてよい方法を考えていくことが大切だと思っております。一日二日では難しくとも、一年二年のスパンで少しずつ良くなって行けば良いかと、その繰り返しだと思っています。

5、ご意見聴取

①グループホームにおける生活等について

②地域との連携・協力等について

③その他

以上のテーマで、自由にご意見を頂きました。

(柿島様)うちの息子は上宮田で生まれ育って上宮田のお祭りが大好きだったんですよ。養護学校を卒業して、色々な事業所に通う様になっても、お祭りがあると事業所を休んで行くくらいでした。クレーレに入居してから、上宮田のお祭りの日に行きたいというのではないかと、大丈夫かなと思っていたのですが、段々とクレーレの地域のお祭りに馴染んで来て、それは有難いことだと思っております。

(飯嶋様)この間のお祭りでも、玄関前にイスを並べて、皆でお祭りを見られてましたよね。

(下田)施設の玄関の前まで、獅子舞が来てくれるんですよ。

(高橋大)Hさんは如何ですか、こちらでの生活は？

(H様)あのね、Yちゃんと仲良くしているの。

(高橋大)楽しく暮らせていますか？

(H様)はい。

(飯嶋様)2番目のグループホームは立たないですかね？

(高橋大)一番の課題は、職員の確保だと考えております。ただ、ニーズが高いことは承知しておりますので、適宜法人に提案していきたいと思えます。

(飯嶋様)障害者が施設ではなく地域で暮らす、となってから、親は施設に入れないで自宅で暮らしていると思うんですが、その人たちの年齢が高齢になってきているので、これからますます必要になってくると思えます。

(荻原様)そういう方たちのご相談が多いです。やはりお子様の自立を考えてグループホームに入居させたいという話で、新規で区分を付けるという話が、今年度結構来ております。

(飯嶋様)施設ではなく地域でと言いながら、地域で暮らす仕組みができてなくて、親と一緒に暮らすのが「地域」という感じがずっと繋がってきていて、それがそろそろ限界にきているように感じます。三浦市さんの方でもよろしくお願いいたします。

(飯嶋様)あと、障害者福祉の課題と言えば成年後見だと思うのですが、クレーレ三浦の入居者さんで利用している人はどのくらいいるのでしょうか？

(野村)男性で2名、女性は1名です。

(吉岡様)三浦市は障害を持った方だけではなく、高齢の方もたくさんいて、生活していくのが大変だなあという場面を目にすることが、多々あります。市役所の皆さんも、地域の特殊性を考えて、少しずつでも障害を持った方や高齢者が暮らしやすい環境を考えて頂きたいです。

(柿島様)人口は増えないでしょうね。三浦海岸に新しいマンションが建ちましたけど、あの辺りを歩いている方たちも、やはり高齢者が多いです。

(吉岡様)ああいうお年寄りの方たちが、地域でなんとか暮らしているのは本当に良いことだと思うのですが、そういう生活が続けられるような施策をやって頂けると、障害者や高齢者だけでなく皆が良くなるんじゃないかなと思うんです。

(飯嶋様)グループホームの利用者さんは、お散歩などで地域の方とお顔を合わせることは多いんですか？

(下田)職員が行く場合もあれば、外部のヘルパーさんと散歩に行くこともあります。顔を合わせたら、挨拶くらいはさせて頂いております。

(飯嶋様)買物は、どのあたりまで行かれるんですか？

(下田)ファミリーマートや京急ストア、あとちょっと遠いですがFUJIスーパーまで行くこともあります。

(高橋(翔)様)お散歩以外に、「私たちはクレーレの入居者です」と地域に知ってもらえるような、イベントとかはないでしょうか？

(下田)先ほども話に出ましたが、夏祭りへの参加などでしょうか。

(高橋大)悩ましいところで、地域に方に知ってもらう重要性もある一方で、利用者さんのプライバシーの確保も大事だという考えもありまして。例えば、これはクレーレの話ではないのですが、たまにグループホームに看板を付けるよう地域の方から言われることがあります。事業所という視点で見たら分かる話ですが、利用者さんにとっては自宅ですので、表札はともかく、自宅に看板はつけないかなと。難しいところだと思っています。

6、中締め

高橋大より、中締めのあいさつを致しました。

7、事業所見学

全員で、事業所の見学を行いました。

以上